

すくわくプログラム活動報告

豊川保育園 4月

年間テーマ

乳児期からの身体づくり～巧技台は身近な遊園地～



設定の理由

進級時から身体を動かして遊ぶことが好きな子どもたちが多かった。その姿から組み方によって様々な動きが経験できる巧技台に親しみを持って身体を動かせたら良いと思い、活動を組んだ。

活動の内容

普段から乳児が集まって遊ぶホールで巧技台と肋木を組んで準備してから、子どもたちを誘い遊ぶ。初めにやり方と約束を確認してから遊び始めた。はしごは上に高いで頭を低くすると怖さが出るのでまずは、跨いで体重移動をしながら右側へ左側へ体重を移動させて前へ進んでいく。

初めは、やり方がわからなかったのか、中々参加しないでいた子もいたが、やっている人数が少なくなってくると、少しずつやり始めて、その後は何回も遊ぶ姿があった。

活動のために準備したもの

巧技台

組み方

30cmの高さから40cmの高さにハシゴをかける

肋木

二つを縦にして斜面板を間にかけて橋にする

振り返りから得た大人の気づき

子どもたちが楽しいイメージがしやすいように「巧技台で遊ぼう」ではなく「遊園地で遊ぼう」と言葉掛けをしたことで、子どもたち楽しみながら身体を動かすことができた。ハシゴを跨いで進んだことで、高所の怖さも和らげて、ねらい通り右へ左へ体重移動させる経験ができた。

しかし、大人数で行ったこともあり混み合ってしまい、子どもたち一人ひとりのペースでできたかったため、少人数で楽しむ活動もやっていきたい。

すくわくプログラム活動報告

豊川保育園 10月

年間テーマ

乳児期からの身体づくり～巧技台は身近な遊園地～



設定の理由

春の頃よりも友だちと一緒に遊ぶ姿が増えてきた。子どもたちから生まれた遊びで、首にバンダナを巻いた「スーパーヒーローごっこ」を楽しんでいた。そこで、運動会でもイメージ遊びと繋げながら、巧技台で楽しむことにした。

活動の内容

4月のハシゴを使って体重移動で進んでいく動きから、今度は傾斜を逆にして、頭が低くなる状態で高這いになって進む。この動きは、頭が腰よりも下にあるので腕の力で身体を支えつつ前へ進む動きを楽しんだ。

その後、子どもたちの中でバンダナを首に巻いた「スーパーヒーロー」のイメージ遊びの一環で斜面板に円柱とマットをかけてローラー滑り台のようにしてヒーローが飛んでいるイメージを表現した。マットの上でも両手で身体を支えながら、落ちないようにバランスをとっている動きとなっている。

活動のために準備したもの

巧技台40cm
円柱×5
マット×6
斜面板×1

振り返りから得た大人の気づき

「スーパーヒーロー」というイメージの中で巧技台を組んだことで、子どもたちも楽しみながら身体を動かしていました。また、斜面の方は二人一組で行ったことで、1人では怖い子も、友だちと一緒になら楽しい雰囲気のままでできたように思う。

すくわくプログラム活動報告

豊川保育園 11月

年間テーマ

乳児期から身体づくり～巧技台は身近な遊園地～



設定の理由

春から散歩や巧技台で身体を動かし、子どもたちも体力がついてきたこともあり、思いっきり身体を動かしながら、自分の身体を調整しながら楽しめるのではないかと、夕方の時間を利用して一週間写真のよう毎日組んで遊んだ。

活動の内容

一方方向に進んでいく中で、巧技台と円柱の上にマットを置き、マット山を作りその上から前に置いてあるマットに向かってジャンプしていく。進む方向などの約束を確認してから始める。マットに向かって高くジャンプしたり、遠くに向かって、ジャンプしたりと子どもたちで考えながら行う。また巧技台のマット山は、子どもの腰の高さがあるので、高さが怖い子は、慎重に山から滑るように降りる姿がある。何度も行ったことで、友だちを避けながら飛び降りるようになった。

活動のために準備したもの

巧技台30cm×3
円柱×2
マット×6

振り返りから得た大人の気づき

同じ組み方を一週間続けたことで、動きに慣れ、高く跳ぼうとしたり、遠くへ跳ぼうとしたり、友だちの姿が見ながら自分で動きを考えている姿があった。また、周りを気にしながら遊ぶようになり、友だちのことを視野に入れて、前に友だちがいる時には、いなくなるまで待ってからジャンプするなど自分の身体を調節しながら遊ぶようになった